

ロゴでのハング、ブラックまたはグレー スクリーンからの Edge 300 回復手順 -CSCu176460

目次

[概要](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[準備](#)

[概要](#)

[システム要件](#)

[準備して下さい起動可能な USB ドライブ- Edge 300](#)

[準備して下さい起動可能な USB ドライブ-一般的な Linux](#)

[ファームウェアは点滅します](#)

概要

この資料に Cisco Edge 300 がブートアップの間にハングする問題を提起する方法を記述されています。

問題

ブートアップの間に、Ciscoロゴは表示する続けるかもしれませんがまたは黒かグレースクリーンは表示するかもしれません。この問題は Cisco バグ ID [CSCu176460](#) の下で文書化されています。

解決策

ソリューションはファームウェアのバージョン 1.6RB2 が付いている Edge 300 をイメージ変更することです。

準備

1. Cisco.com からのダウンロード ファームウェアのバージョン [1.6RB2](#)。

ファームウェアのバージョン 1.6RB2: [smi-usb-sunbird-1.6RB2-delivery.tar.gz](#)

2. Edge 300 の MAC アドレスのメモを作して下さい。これは MAC として分類されるユニットの下部のステッカーで見つけることができます。

リカバリプロセスの間に、Edge 300 はリブートする必要があります。場合によっては、

Edge 300 は十分に起動しないかもしれませんが、まだネットワークによってアクセス可能であるかもしれません。ユニットの IP アドレスがエラー状態による画面で表示する場合、どんな IP アドレスが DHCP によって与えられたか判別するために MAC アドレスを使用しなければならないかもしれません。

概要

この 2 つのステージに説明がある Cisco Edge 300 のファームウェアをアップグレードするためにステップが必要となったドキュメント アウトライン:

- 起動可能な USB ドライブを準備して下さい望ましい Edge 300 ファームウェアが含まれている
- Edge 300 デバイスにファームウェアは点滅します

システム要件

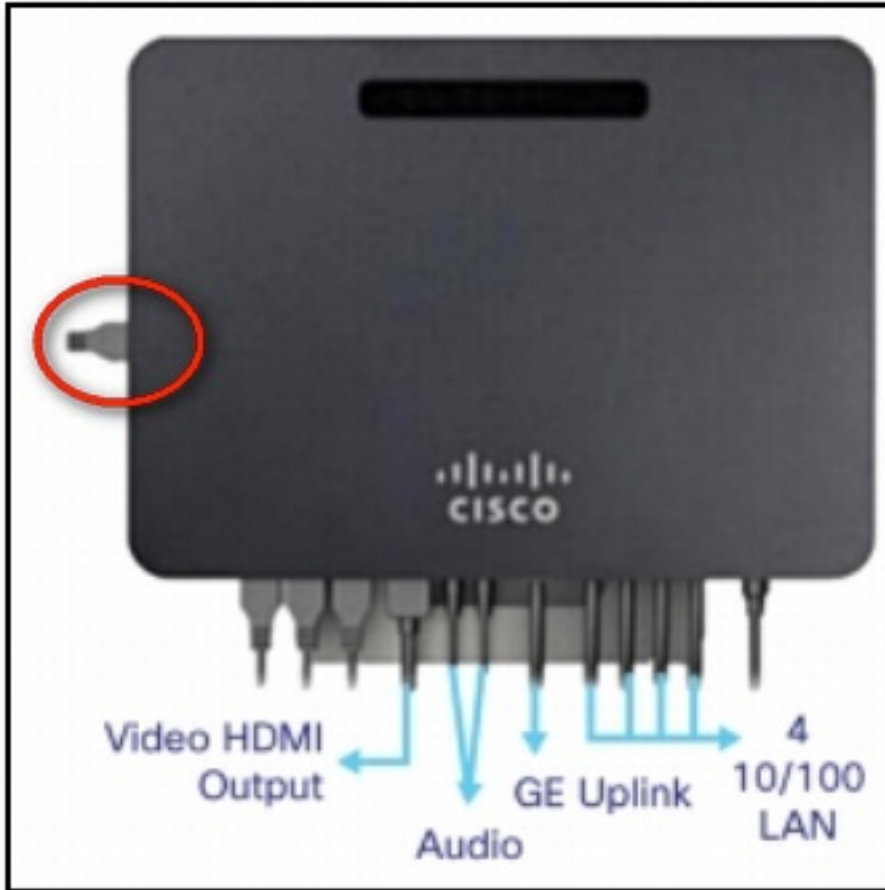
- Cisco Edge 300 デバイス
- ファイル ロケーション テーブル (FAT) 32 ファイル システムで (最小 2GB 空き容量) フォーマットされている 1 つの USB フラッシュ ドライブ*
- 1 Edge 300 ファームウェアイメージ ファイル (USB フラッシュ ドライブと併用するための)
- 1 つのペーパークリップ/SIM カード (SIM) はツールを出します (引込められた Reset ボタンのために)

注: エッジ ファームウェア点滅するために USB フラッシュ ドライブのコンテンツを空にして下さい。 起動可能なフラッシュ ドライブを作成するプロセスは一時的にそれをファイルの慣習的なストレージおよび転送のために使用不可能にします。 フラッシュ ドライブは元ファイル システムに戻ってファームウェアアップグレードが完了したら以降フォーマットし直すことができます。

準備して下さい起動可能な USB ドライブ- Edge 300

注: これらの手順は USB ドライブを準備するためにはたらく Edge 300 を使用し、これが原因で、いくつかのコマンドのパスは Edge 300 に特定です。 はたらく Edge 300 が利用できなくまたは得難い場合、いくつかのファイルロケーションを修正する場合ステップを実行するために Ubuntu、Red Hat、または類似したのような別の Linux システムを使用できます。 **起動可能な USB ドライブを準備するために分類されるセクションを-例のための一般的な Linux 参照して下さい。**

1. コンピュータから、USB フラッシュ ドライブのルート ディレクトリに Edge 300 ファームウェアイメージをコピーして下さい。 USB ドライブをコンピュータから切り離し、デバイスの側にある Edge 300 の USB ポートにそれを接続して下さい。



2. PuTTY (Microsoft Windows PC で) またはこのステップのコマンドを用いるターミナルが付いているデバイスへのセキュアシェル (SSH) (マッキントッシュで) 。 エッジデバイスの実際の IP アドレスとデバイス IP アドレスを取り替えて下さい。 ネットワーク管理者が付いている Edge 300 のための正しい IP アドレスおよびルート資格情報を確認して下さい。

```
# ssh root@{device IP}
# root@{device IP} password: cisco
```

3. USB ドライブを見つけるために blkid コマンドを入力して下さい。 のは通常 XX が b1、 b2 または c1 の /dev/sdxx、 c2 です。 この資料に関しては、それが /dev/sdb1 であることを仮定して下さい。

```
# blkid
/dev/sdb1: LABEL="USBDRIVE" UUID="7288-0792" TYPE="vfat"
```

4. USB ドライブをマウントして下さい。

```
# mount /dev/sdb1 /tmp/mnt
```

5. USB ドライブをアンマウントし、 Edge 300 デバイスにファームウェアイメージをコピーして下さい (/apps/ ディレクトリに) 。 終わるためにタスクを待って下さい。 イメージファイルコピーはコマンド・ラインの始めに完了しました時操作卓表示機構 a #記号。 この例では、 1.6RB2 ファイルは使用されず (smi-usb-sunbird-1.6RB2-delivery.tar.gz) 。

```
# cp /tmp/mnt/smi-usb-sunbird-1.6RB2-delivery.tar.gz /apps/
# umount /tmp/mnt
```

6. ステップと異なるために 3) 検出された場合 USB ドライブを出さないし、これらのコマンドを入力して下さい (blkid と sdb1 を取り替えることを忘れないようにして下さい。 各コ

マンドが実行するのに時間をかけることに注目して下さい。次のコマンドに進む前に各コマンドが完了するまで待って下さい (操作卓表示機構 a #)。コマンドすべてが実行されたら、デバイスから USB ドライブを取除いて下さい。

```
# mkfs.ext3 /dev/sdb1
# mount /dev/sdb1 /tmp/mnt
# tar xvzf /apps/smi-usb-sunbird-1.6RB2-delivery.tar.gz -C /tmp/mnt
# umount /tmp/mnt
```

準備して下さい起動可能な USB ドライブ—一般的な Linux

これらの手順は Linux の起動可能な USB ドライブを準備する方法を説明します。

1. ルートとしてコンソールまたは SSH による Linux デバイスへの接続応答はこのコマンドでおよび USB ドライブのためのマウント ポイントを作成します:

```
# mkdir /tmp/mnt
```

2. USB ドライブを見つけるために `blkid` コマンドを入力して下さい。のは通常 `XX` が `b1`、`b2` または `c1` の `/dev/sdxx`、`c2` です。この資料に関しては、それが `/dev/sdb1` であることを仮定して下さい。

```
# blkid
/dev/sdb1: LABEL="USBDRIVE" UUID="7288-0792" TYPE="vfat"
```

3. USB ドライブをマウントして下さい。

```
# mount /dev/sdb1 /tmp/mnt
```

4. USB ドライブをアンマウントし、Linux デバイスにファームウェアイメージをコピーして下さい (`/tmp/` ディレクトリに)。終わるためにタスクを待って下さい。イメージ ファイル コピーはコマンド・ラインの始めに完了しました時操作卓表示機構 a #記号。この例では、1.6RB2 ファイルは使用されず (`smi-usb-sunbird-1.6RB2-delivery.tar.gz`)。

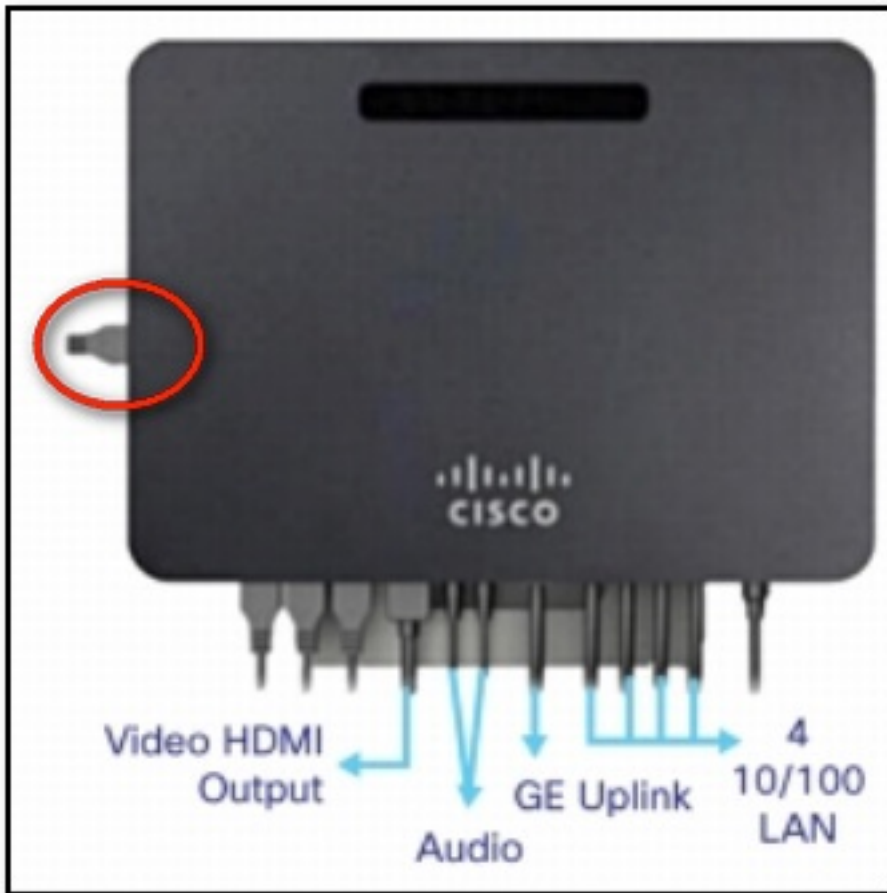
```
# cp /tmp/mnt/smi-usb-sunbird-1.6RB2-delivery.tar.gz /tmp/
# umount /tmp/mnt
```

5. ステップと異なるために 2) 検出された場合 USB ドライブを出さないし、これらのコマンドを入力して下さい (`blkid` と `sdb1` を取り替えることを忘れないようにして下さい。各コマンドが実行するのに時間をかけることに注目して下さい。次のコマンドに進む前に各コマンドが完了するまで待って下さい (操作卓表示機構 a #)。コマンドすべてが実行されたら、デバイスから USB ドライブを取除いて下さい。

```
# mkfs.ext3 /dev/sdb1
# mount /dev/sdb1 /tmp/mnt
# tar xvzf /tmp/smi-usb-sunbird-1.6RB2-delivery.tar.gz -C /tmp/mnt
# umount /tmp/mnt
```

ファームウェアは点滅します

1. Edge 300 の電源ボタンを OFF 押し、それを回すために保持して下さい。デバイスの側にある USB ポートに新しく作成された起動可能な USB ドライブを再度接続して下さい。



2. Edge 300 の電源ボタンを押し、それを再び入れるために保持して下さい。デバイスがそれ自身をリブートするまでペーパークリップ/SIM を Reset ボタンを約 5 秒のデバイスの電力ボタンの隣にあって押し、保持するために出しますツールを使用して下さい。



3. リブートされて、Edge 300 デバイスは USB のコンテンツを駆動し、点滅し始めます。ファームウェア読み込みます。ファームウェアアップデートはプロセスにあることを示す電源 LED は絶えずこの時点で点滅します。ファームウェア点滅は接続されたディスプレイの Login 画面を表示とき完了しました。

